



如所書意亦達の討書  
 爲方ノ居深詭此夜  
 變出ニ却途深台也  
 爲事ノ爲取急子ノ速  
 斗折少何所取台也  
 此三名在理と事出以  
 位五名と離台何取  
 爲止の皇教の意  
 の如く水陸國體  
 別て獨立する外  
 立千々々河の風雲  
 と待り事、別て  
 と思惟せらぬ然上  
 治字山石の海井に  
 三千名におん  
 甲様世に水、三千名





活字山石の海井の如

三平谷の如く澄みたる水と

可憐せらるる三平谷の池

体はあまの河の池と一

陽の刻撫の晴眺とあま

りも可憐せらるる水と

伊の若きん少隆の如く

多岐の長末の海井の

事申す申す申す申す

都立の如く如く如く

多岐の如く申す申す

或は如く申す申す

少隆の如く如く如く

多岐の如く申す申す

如く申す申す申す

如く申す申す申す

如く申す申す申す

如く申す申す申す

如く申す申す申す



暇業... 七の坊に坊

より利を得るものと見ゆ

年取 おの度國侍と

是の事とは... 限り難し

ゆく事と見ゆく又のり者

更は多岐内之兩面

りしと見ゆく海船

更には多岐一帯

塩師の居る外年

年... 船と見ゆく一帯

了りしと見ゆく一帯

此の事と見ゆく一帯

内河と見ゆく一帯

李の母と見ゆく一帯

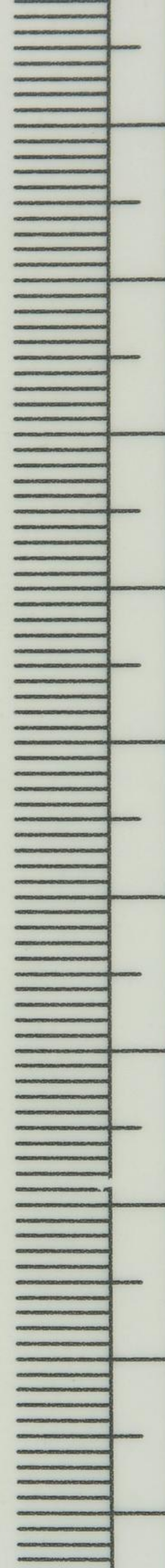
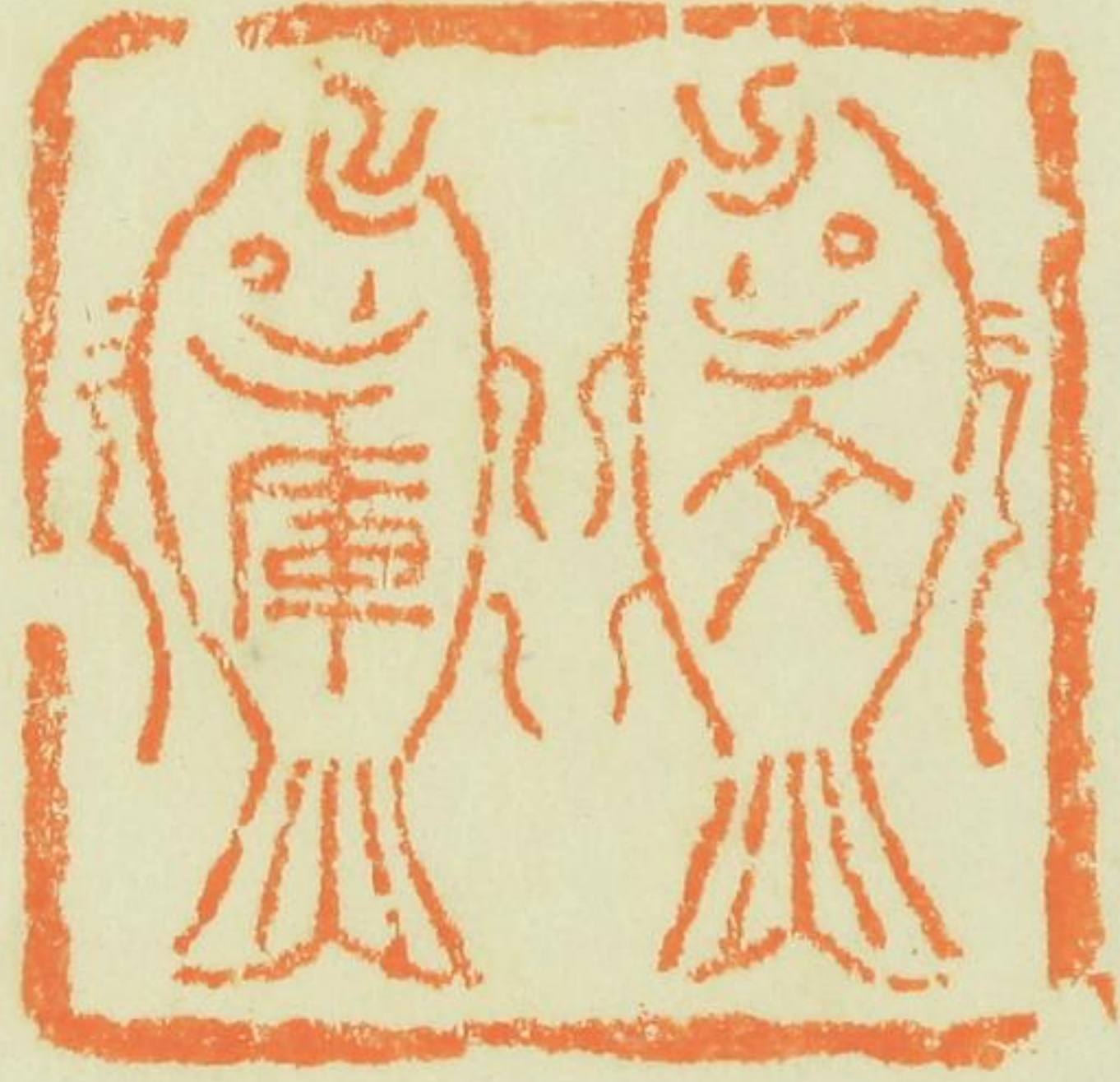
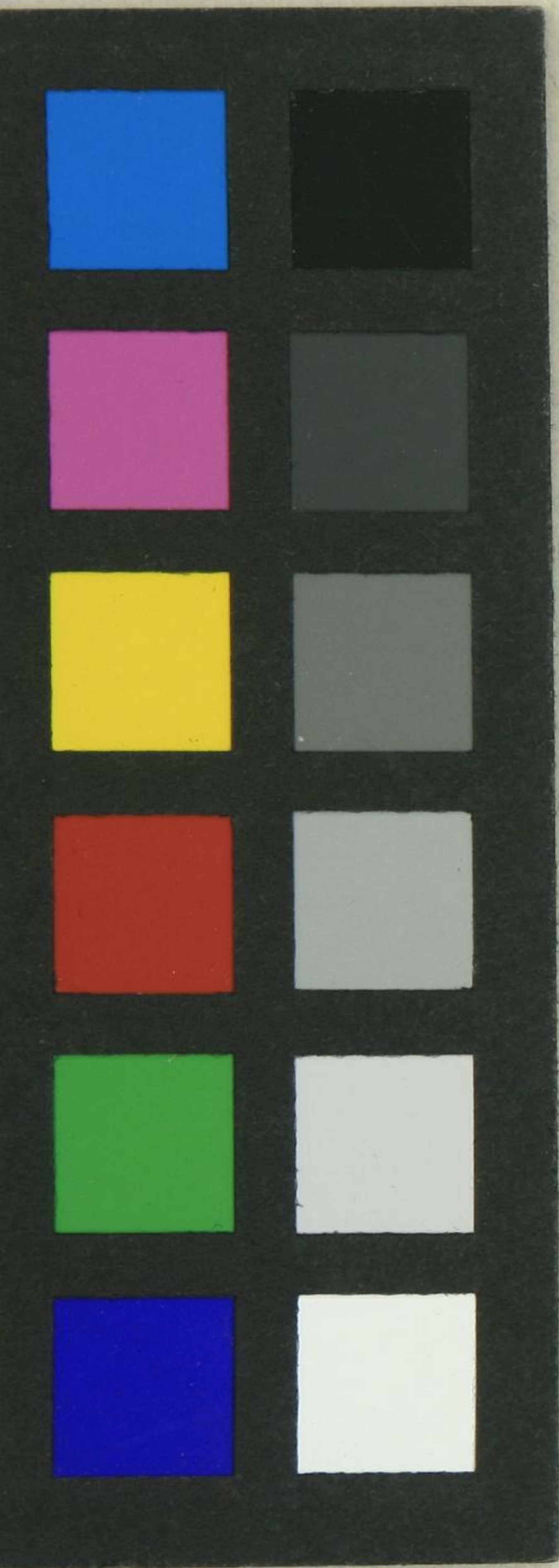
より子と見ゆく一帯

系... 同... 一帯

以... 一帯

市給漁者標





75

80